

「第五福竜丸乗組員およびトロトラスト沈着症の追跡調査」

の対象となる皆様へ

1954年3月1日に太平洋上マーシャル諸島ビキニ環礁で行われた米国の水爆実験により、23名の第五福竜丸乗組員が被ばくした事件が起きています。2週間後に帰港し、放射線被ばくによる急性症状に対して、入院による治療が行われています。その後、60年以上経過した現在でも毎年1回の健康診断、染色体検査を行っています。また1932年から1945年にかけて戦傷者を中心に投与された放射性の血管造影剤であるトロトラストの内部被ばくの追跡調査も同様に行っています。これらの長期間にわたる被ばく例の追跡調査は世界でも稀で貴重なデータです。今回、この研究で、水爆実験当時の記録、資料、診療録などを整理し、評価を行うことにしました。これは、国内外における公衆衛生上不可欠な研究です。

放射線医学研究所では、上記の目的で「第五福竜丸乗組員およびトロトラスト沈着症の追跡調査」を実施しております。この研究は、毎年健康診断、染色体検査を当研究所または他の医療機関で実施する他、既存の記録、資料、診療録から被ばく線量評価、健康状態に関する情報を収集、整理し、評価することによって行います。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。しかし、転居等で連絡が困難な場合がありますので、ここに広報します。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 第五福竜丸乗組員およびトロトラスト沈着症の追跡調査

(実施期間：平成21年3月24日～全ての研究対象者の死亡まで)

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構放射線医学研究所

[研究責任者] 富永隆子

[研究の目的] 既存の記録、資料、診療録から被ばく線量評価、健康状態に関する情報を収集、整理し、長期的な被ばくによる健康影響を調査することを目的とします。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

1954年3月1日当時、ビキニ環礁海域で操業していた第五福竜丸乗組員および1932年から1945年にかけてトロトラストの投与により内部被ばくした方

●利用する情報及び利用方法

これまで実施した検査結果、開示されている情報を使用しますので、新たな質問や検査の必要はありません。既存の記録、資料、診療録の情報および毎年の健康検査、染色体検査の結果を利用します。



[個人情報の取り扱い]

お名前や個人情報が出ることは、一切有りません。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人を直接同定できる情報は削除します。また、研究成果の公表の際に個人名などが表に出ることは絶対にありません。(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。)

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方(又は代理人の方)は、下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。この研究へご自分の診療記録等のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

その他、ご不明な点は下記[問い合わせ先：窓口]にお問い合わせ下さい。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所

電話；043-206-3103 (平日；9：00～17：00)